

6月号

グリーン・ウェーブ GREEN WAVE グリーンコープのうねりを地域へ

今月号の主な内容

総代名簿	2
グリーンコープの化粧品	3
元気な卵のマヨネーズ	4・5
原発のない未来へ	6
生活再生支援事業	7

第205号
 発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
 編集●広報委員会
 福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大博通ビルディング3F
 TEL●092-482-7770 (代)
 ホームページ●http://www.greencoop-fukuoka.jp

グリーンコープは 「産直」と「国産」に こだわります!

子どもたちが健やかに成長できるように、家族が安心して暮らしていけるようにという組合員の願いを叶えるために、グリーンコープは「国産」と「産直」にこだわっています。そのこだわりと、日本の農業を守り後継者を育てるために生まれた「幸福(しあわせ)になる農業塾」の紹介をします。

グリーンコープの「産直」は!

- ① その生産物を誰が作っているのか明らかである。
- ② その生産物がどのような生産方法(栽培・飼育など)になっているか明らかである。
- ③ 生産者とグリーンコープ(組合員)との交流ができる。
- ④ 生産者の側からみても産直提携が実感できる。



新しい「産直」の形を

この春グリーンコープは、産直生産者と共に、経営力のある農業のプロを育てることを目的として農業塾を立ち上げたんだ!

「産直」
を
次の30年につなぐために!

国産を 追求してるよ!

今、日本の食糧自給率は40%以下(カロリーベース)。農畜産業に携わる人は減り続けているんだ。グリーンコープは日本の農業を応援し、食料自給率の向上を目指してるよ!



生産者と共に「幸福(しあわせ)になる農業塾」設立!

農業でしあわせに生きる



発起人代表の一人、たのくら会の鳥越さんからは「食べものについて農家だけでなく、食べる人も一緒に真剣に考える時です。これからの地域、農業、環境、食べものについて一緒に考えていかないといけないと思う。」と発言がありました。

設立総会に参加して

農業で幸福になるためには、技術や経営力、支え合う仲間の存在が不可欠です。一般に比べグリーンコープは比較的、後継者問題は大丈夫だといわれていますが、高齢化問題があり、欠配を減らしていく意味でも生産者を増やしていくことは必要です。生産者は親世代から土地やノウハウを譲り受けることが多いと思いますが、「幸福(しあわせ)になる農業塾」では、新規就農者にグリーンコープの生産者が基礎的な知識や実践方法、農業経営をレクチャーすることが大きな特徴だと思えます。

今後、農業従事者がやりがいを感じられる農業ができるように、試行錯誤で取り組まれていくと思います。私たち組合員の未来のために設立されました。生産者を応援していきたいと思えます。

食べもの委員長(北分身) 坂本 真由美

30周年記念レシピ集

大阪から鹿児島県の14単協の組合員から募ったレシピ集が、出来上がりました。卓上型なので、台所に置いたまま使えます。春・夏・秋・冬の年4回企画し、その季節に合わせたレシピと、ご当地レシピが満載です。このレシピ集を見ながら、グリーンコープの自慢の商品で、美味しいお料理を作りましょう!

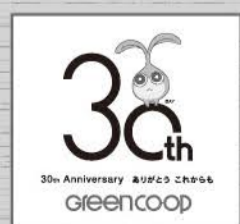
中部地域理事長 木室 裕子

※6/9(土)・6/24(日)のまつり会場で販売します!
カタログGREENでの案内も今後検討していきます。

「Hug Recipe」



祝30周年



コラボネームは「Greenフレンズ」に決定!

「Greenフレンズ」。ネーミングの募集を見た時に、ぱっと頭に浮かんだ言葉でした。初めてのお店で「グリーンコープの食材を使っています」という一文を見つけると、急に親近感がわいてきます。そんな気持ちが「フレンズ」という言葉に現れたのかもしれない。Greenフレンズの輪の広がりを楽しみにしています。

筑後支部八女地域常任委員 権藤 加奈子

グリーンコープの食材を使っているお店や施設とコラボするプロジェクトでネーミング大募集!



